



「京都市におけるモビリティ・マネジメント教育の推進について」

京都市都市計画局歩くまち京都推進室

京都市では、人と公共交通優先の「歩くまち・京都」の実現を目指すため、平成 22 年 1 月に、「歩くまち・京都」総合交通戦略を策定し、「既存公共交通」、「まちづくり」、「ライフスタイル」の 3 つの柱を掲げ、取組を進めております。

このうち、「ライフスタイル」の取組では、市民の意識と行動に直接働きかけ、過度なクルマ利用を控え、歩くこと、公共交通等を利用することへの転換を促す取組であるコミュニケーション施策（モビリティ・マネジメント）を推進しています。

主な内容として、約 64 万世帯を対象とした市民しんぶんを活用した動機付け情報の提供や、ラジオ等を活用し、市民や観光客を対象にクルマから公共交通への転換を呼び換えるなど、あらゆる場面を捉えて、ライフスタイルの転換を図っております。

さらに、未来の公共交通利用者を確保するため、平成 24 年度から学識者、教育委員会、教員から構成される検討会を設置し、教育現場のニーズを把握しながら、小学校低学年、中学年、高学年向けの学習指導案を作成し、各学年のモデル授業を実施しました。

また、平成 26 年度においては、教員がモビリティ・マネジメント教育を実施する際に参考となる DVD を作成し、市内小学校全校（176 校）に配布したところ、視聴した教員のうち 82.6%の方から、「授業をしてみようと思った」という感想をいただきました。

今年度の取組としては、昨年度の取組を拡充し、継続的に実施するために、モデル授業のバリエーションを増やすとともに、授業への取組をより容易にするために、その授業に使用する教材を作成するなど、教育委員会と連携しながら、京都市内での水平展開を図っていきたいと考えております。

今後とも、「歩くまち・京都」の実現に向けて、関係機関と連携しながら、学校や地域の実情に応じたモビリティ・マネジメント教育を進めて参ります。